

# 工学部 環境システム学科

## 2022年度入学生カリキュラム

### <カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** ..... p.2  
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ [武蔵野 INITIAL・学科科目]** ..... p.4  
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** ..... p.6  
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。  
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 INITIAL]** ..... p.7  
武蔵野INITIAL(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** ..... p.9  
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** ..... p.11  
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。  
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** ..... p.16  
「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」「本学が認めたキャリアデザインに関する認定科目」の一覧。

### 付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

## 環境システム学科 カリキュラム・ポリシー

持続可能な社会構築に向けて、環境科学の専門能力、幅広い環境関連分野の知識を身につけ、システム思考をもって主体的に社会参画し、社会を啓発する意欲を持つ人を育成するために、1年次は、「武蔵野INITIAL」で大学での学びの基礎を幅広く学びます。また、専門科目では、必修科目である「環境問題概論1」や「環境科学基礎A・B・C」で地球環境問題の現状や、環境改善の技術の原理を科学的に学びます。また、「環境問題概論2」では、システム思考を学び環境問題構造の把握とともに真に実効性のある環境活動を行っているかどうか検証できる力を養います。「環境システム学初年次ゼミナール」では、研究活動の基礎能力（調べる、書く、発表する）を習得します。さらに、環境分野の世界での公用語である英語学習を全員に課し、情報収集やコミュニケーションを行います。また、「問題解決型授業PBL：Problem Based Learning or Project Based Learning」の教育手法をとり入れた「環境プロジェクト入門」では、現実の環境問題の解決に向けたプロジェクトを企画し実行する活動を通じて、主体性やコミュニケーション力、課題発見力、課題解決力を養います。環境プロジェクトの活動については、環境プロジェクト公式サイト<http://mu-projects.com/> に詳しく紹介されています。2年次は、環境科学の基礎や分析技術を軸に学ぶ自然科学系列の科目と、企業社会の動きなどを軸に学ぶ社会科学系列の科目を広く学びます。これにより、技術を追求し、具体的構想を実現するスペシャリストとしての基礎と、多面的な問題を立体的にとらえ、評価・分析するジェネラリストとしての素養を養います。また、「環境プロジェクト1A・1B」では、1年次の「環境プロジェクト入門」の発展として、より環境学の専門性を活かした課題解決の方法やプロジェクトの企画、運営について実践的に学んでいきます。

3年次は、教員がその専門性を活かして主宰するゼミ（「環境システム学ゼミナール1・2」）を学修の主体とします。ゼミの選択は、原則として各自の希望が尊重されます。専門の各分野での学びや環境プロジェクト等の各種の活動も継続させます。産学連携による幅広い学びも推進していきます。

4年次は、大学教育4年間の集大成として教員の個別指導のもとに卒業研究を行い卒業論文としてまとめる時です。卒業研究（前期）は必修、卒業論文（後期）は選択となりますが、卒業論文に取り組むことを奨励しています。これまで、高校時代から疑問だったことを丁寧に調べた研究や、環境プロジェクトが契機となりそれを掘り下げた研究、新たな活動を提案して実践した研究など個性あふれる研究が行われています。

2015年度より、環境システム学科のカリキュラムが、東京都ECO-TOP プログラム<http://www.eco-top.jp/> の認定を受けることになりました。このプログラムは、自然環境の保全を推進するために、自然環境分野で幅広い知識を有し、アクティブに行動できる人材を、大学、企業、NPO、行政が連携して育成し、社会に送り出していくためのしくみです。指定された条件を満たした履修を行えば、卒業時に東京都知事名で修了者番号が交付されます。ただ単に資格が取れるだけでなく、東京都庁等におけるインターンシップ体験をはじめとして、このプログラムの認定を受けている他大学（桜美林大学、首都大学東京、玉川大学、千葉大学、東京農工大学、法政大学）との交流会や合同発表会等の貴重な機会を得ることができます。

## 知識・専門性：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

環境科学の専門能力、幅広い環境関連分野の知識を身につけている【専門能力】

専門分野の枠を超えた知の融合が実践できる【学際的専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野INITIAL」を履修します。「武蔵野INITIAL」は、学部・学科での専門教育に先だって、大学レベルでの学びとは何かをはじめに学ぶプログラムです。人生を生きる智慧としての幅広い教養を身につける機会を提供します。「武蔵野INITIAL」には、「建学」「スポーツ・身体」「情報」「外国語」「教養日本語」「CHP（Creating Happiness Program）」「フィールド・スタディーズ」「インターンシップ」「全学教養ゼミナール」そして「寄付講座」などの科目群があります。これら科目群は「知識・専門性」「関心・態度・人格」「思考・判断」「実践的スキル・表現」に横断的に関わるところに大きな特色を有します。

学科基礎科目として1年次に「環境問題概論1、2」「環境英語入門1、2」「環境科学基礎A、B、C」「環境システム学初年次ゼミナール」の8科目を必修科目として開講します。専門的な学修を進めるための環境システム学の概論を学び、全体像を捉えます。

学科基幹科目として1年次に「環境リサイクル論」「環境エネルギー概論」の必修科目を2科目を開講し、2、3年次に環境システム学の核となる理論を修得するために、「環境マネジメント論」「生態系マネジメント」「環境システム思考」「環境システム学基礎ゼミナール」「持続可能社会論」「環境システム学ゼミナール1、2」の必修7科目を開講し、「環境マネジメントシステム論」「社会技術論」「資源エネルギー論」等の選択科目を開講します。

学科展開科目として2、3年次に環境システム学分野に特化した科目を開講し、「環境モニタリング1、2、3」「環境システム学特殊授業1、2、3、4、5」「環境インターンシップ1、2、3」「環境プロジェクト1A、1B、2A、2B」等の発展的な内容を学びます。

## 関心・態度・人格 :他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

自らグローバルな視野で環境システムに関する諸問題を発見することができる【課題発見力】

持続可能な社会構築に向けて、主体的に社会参画し、一般社会を啓発できる【主体性・実行力】

企業・自治体・NPOの現場を知ること、社会で活躍するための柔軟性とストレス耐性を身につけている【柔軟性・ストレスコントロール力】

「社会を啓発する」とは、広義での環境教育や「持続可能な開発のための教育（ESD : Education for Sustainable Development）」を指しています。持続可能な社会を創造する基盤である「教育」の担い手を育成するために、体験型教育手法や協同学習理論を応用した「自然環境教育演習」等の実践的な授業科目を開講しています。学校教育における環境教育・ESDの推進者を育てるべく、高等学校・中学校教諭一種免許状（理科）が取得できるカリキュラムを用意しています。

環境システム学科は自由闊達な学科風土を特徴としており、学生は自主自律の精神にあふれているという評価があります。この学科風土を醸成する源泉は、「環境プロジェクト入門」「環境プロジェクト1A、1B、2A、2B」と「総合研究基礎1、2」「総合研究1、2、3」です。「環境プロジェクト」は、「問題解決型授業PBL : Problem Based Learning or Project Based Learning」や「アクティブ・ラーニング（主体的な学習）」等の先進教育手法を取り入れた授業計画となっており、環境学の学びは自主的な活動が基礎になることを体験し、さらに環境活動の実践と専門知識の水準向上や地域社会における環境課題の発見法や解決法を身につけることをめざしています。「総合研究」は、学生の自主的な学修活動を大いに推奨し、成果が上がった場合には単位として認める制度です。

2015年度より、環境システム学科のカリキュラムが、東京都「ECO-TOP プログラム」の認定を受けることになりました。このプログラムは、自然環境の保全を推進するために、自然環境分野で幅広い知識を有し、主体的に行動できる人材を、大学、企業、NPO、行政が連携して育成し、社会に送り出していくためのしくみです。「環境インターンシップ1、2、3」「環境学総合演習」等の指定科目を履修することにより、卒業時に東京都知事名で修了者番号が交付されます。公的な資格が取れるだけでなく、東京都庁等におけるインターンシップ体験をはじめとして、このプログラムの認定を受けている他大学との交流会や合同発表会等の貴重な機会を得ることができます。

## 思考・判断 :課題を多角的に捉え、創造的に考える力

自ら環境科学などの専門能力を身につけ環境システムを論理的に分析できる【情報分析力・論理的思考力】

問題に対して多角的な思考、判断を行うことができる【判断力】

答えのない問題に対し、多様な人々との協働を通して革新的な発想を生み出し、大きなビジョンを描き、新たな価値を創造することができる【課題解決力・創造的思考力】

システム思考とは「システム」という概念を用いて、対象全体を統一的、または包括的にとらえる思考法です。例えば、ある働きや活動を示すものが、一群の構成要素を内包し、互いに依存・作用し合い、連携して機能を果たすことで、秩序ある集合体となるのがシステムです。その内部構造や機構から一部を取り出しても全体を理解することができません。個々の構成要素ではなく、その全体の関連性に注目する、この思考様式がシステム思考です。

複雑に絡み合い「答えのない」問題に対して、システム思考に基づき多角的な思考力や判断力を養うことを主題とした「環境システム思考」「食環境学」「社会技術論」「環境リスク論」「持続可能社会論」等を履修することで、理論と実践の両面からシステム全体の構造からとらえ直し、持続可能な未来を創造する力を身につけてもらいます。

本学科では、課題を多角的に捉え、創造的に考える力を育成する貴重な機会として、少人数で実施されるゼミ、卒業研究を重視しています。学科基幹科目に必修科目として配当されている2年次後期の「環境システム学基礎ゼミナール」、3年次の「環境システム学ゼミナール1、2」を履修した後、4年次前期の「卒業研究」を必修としており、4年間の学びの集大成となる「卒業論文」につなげていきます。

## 実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

日本語および英語を用い、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる【コミュニケーション力】

自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、文書や、図解等を用いて論文や報告書にまとめて発表することができる【表現力】

自ら対話を通じて他者と協力し、持続可能な社会の実現のために方向性を示し実行できる【傾聴力・チームワーク・リーダーシップ】

1年次の必修科目「環境システム学初年次ゼミナール」では、各自の課題意識から選択した文献をレビューし、比較しながら自分の課題あるいは主張にまとめる力を身につけます。さらに大学生に必要な論文の書き方および剽窃行為等を行わないための研究者倫理を身につけます。

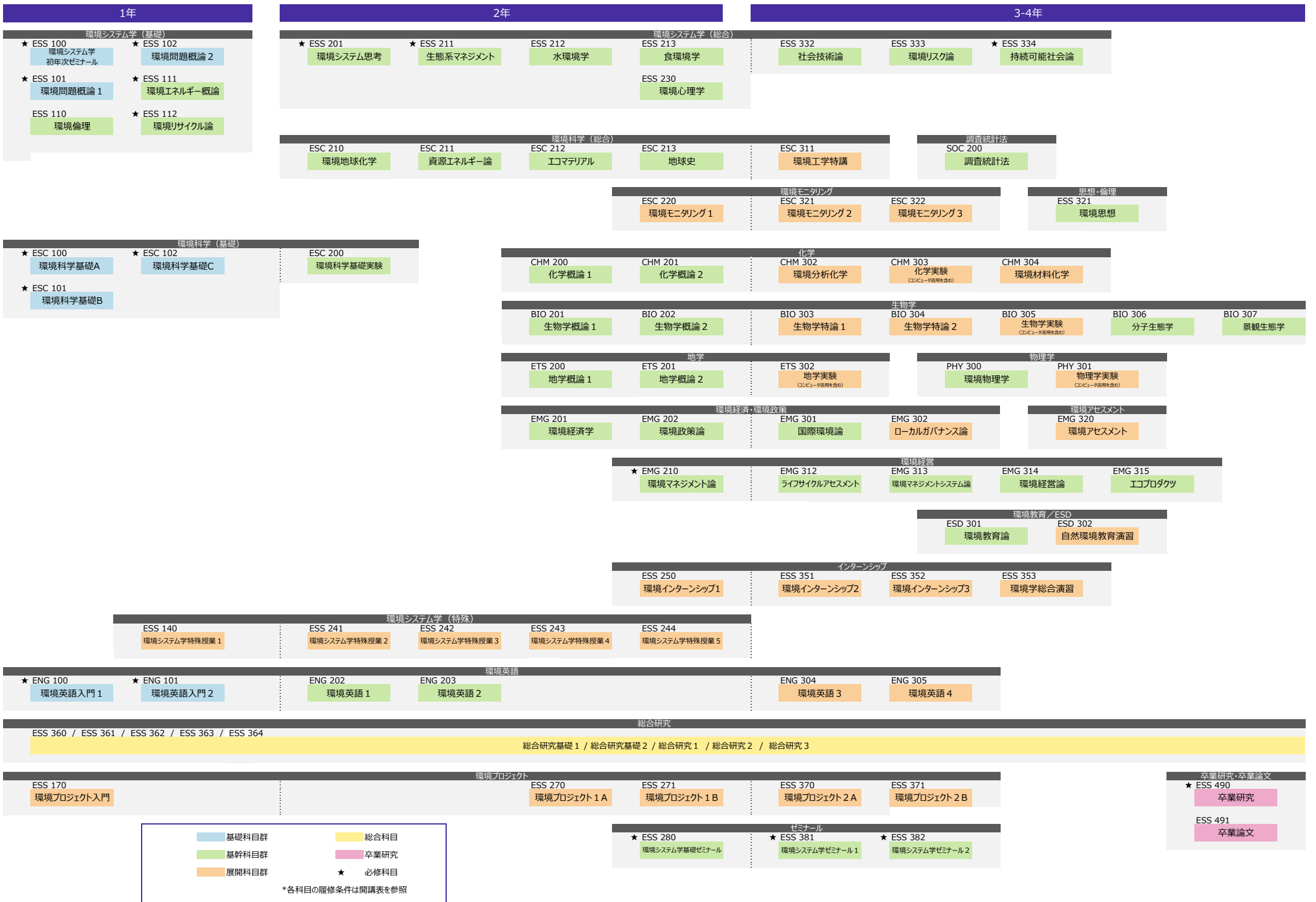
地球規模で起こっている環境問題を英語で理解することは、環境に関連した情報源の拡充につながり、問題の複雑さ、相互関連性を学ぶ上で重要です。1年次の必修科目「環境英語入門1、2」、2年次からの「環境英語1、2、3、4」により、環境に関連する諸問題について英語で学び、英語で話し合うことにより、環境問題に関する知識や視野を広め、英語の情報収集能力及びコミュニケーション・スキルを深めます。

環境省は「アジア環境人材育成ビジョン」を策定し、次代の環境人材には「リーダーシップ」「強い意欲」「専門性」の3つの要素が求められることを示しています。そのうち、「リーダーシップ」「強い意欲」の育成は、これまでの伝統的な大学の授業スタイルでは困難であると言われてきましたが、本学独自の「環境プロジェクト入門」「環境プロジェクト1A、1B、2A、2B」では、教員、学生代表者、TA、SAから構成される「環境プロジェクト運営委員会」を組織し、当該委員会と有機的に協働した授業運営を進めることにより、「リーダーシップ」「チームビルディング」「強い意欲」の醸成も授業目標としています。

1年				2年				3・4年			
★ BDS 101 仏教（生き方を考える）基礎				建学				★ BDS 301 仏教（生き方を考える）発展			
HPE 101 スポーツと身体科学				HPE 201 フィールド・スポーツ							
★ SDG 101 SDG s 基礎				★ SDG 201 SDG s 発展 1				★ SDG 202 SDG s 発展 2			
★ SDG 203 SDG s 発展 3				CHP				CHP 301 SDG s 特講			
★ ENG 101 英語基礎 A				ENG 102 英語基礎 B				★ ENG 103 英語基礎 C			
CHN 101 中国語基礎 1				CHN 102 中国語基礎 2				FRA 101 フランス語基礎 1			
GER 101 ドイツ語基礎 1				GER 102 ドイツ語基礎 2				SPA 101 スペイン語基礎 1			
KOR 101 韓国語基礎 1				KOR 102 韓国語基礎 2				AL 301 留学準備 1			
AL 101 英語資格・検定試験対策1				AL 102 英語資格・検定試験対策2				AL 302 留学準備 2			
				外国語				ENG 301 英語総合 A			
				ENG 201 英語発展 A				ENG 202 英語発展 B			
				CHN 201 中国語発展 1				CHN 202 中国語発展 2			
				GER 201 ドイツ語発展 1				GER 202 ドイツ語発展 2			
				KOR 201 韓国語発展 1				KOR 202 韓国語発展 2			
				ENG 203 英語発展 C				ENG 204 英語発展 D			
				FRA 201 フランス語発展 1				FRA 202 フランス語発展 2			
				SPA 201 スペイン語発展 1				SPA 202 スペイン語発展 2			
								ENG 302 英語総合 B			
★ JL 101 日本語リテラシー				JPA 101 日本事情							
JPA 201 日本語基礎 A				JPA 202 日本語基礎 B				JPA 203 日本語基礎 C			
				JPA 204 日本語基礎 D				JPA 301 日本語発展 A			
								JPA 302 日本語発展 B			
								JPA 303 日本語発展 C			
								JPA 304 日本語発展 D			
★ SIC 101 データサイエンス基礎				★ SIC 102 人工知能基礎				SIC 103 情報技法基礎			
				SIC 104 プログラミング基礎				SIC 201 情報技法発展A			
				SIC 105 メディアリテラシー				SIC 202 情報技法発展B			
								SIC 203 情報技法発展C			
								SIC 204 プログラミング発展A			
								SIC 205 プログラミング発展B			
								SIC 206 人工知能技術と社会			
								SIC 207 機械学習活用 1			
								SIC 208 機械学習活用 2			
								SIC 209 データサイエンス活用 1			
								SIC 210 データサイエンス活用 2			
								SIC 211 メディアデザイン			
								SIC 213 サービスデザイン			
★ FW101 フィールド・スタディーズ				FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4				AFS 101/102/103/104 フィールド・スタディーズ発展 1A/1B/1C/1D			
								AFS 201/202/203/204/205 フィールド・スタディーズ発展 2A/2B/2C/2D/2E			
								AFS 301/302/303/304/305 フィールド・スタディーズ発展 3A/3B/3C/3D/3E			
								AFS 401/402/403/404 フィールド・スタディーズ発展 4A/4B/4C/4D			
LAS 101 全学教養ゼミナール 1				LAS 102 全学教養ゼミナール 2				CD 211 インターンシップ			
								CD 212 企業協働プロジェクト			
EC 101 武蔵野市自由講座				EC 202 証券ビジネス論				LAW 205 日本国憲法			

★ 必修科目  
選択科目

\*各科目の履修条件は開講表を参照



工学部 環境システム学科 -2022年度入学生-

卒業所要単位数

2022年度版

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL (16)	必修 (16)	【建学】 <1年次> 仏教（生き方を考える）基礎 [2単位] <3年次> 仏教（生き方を考える）発展 [2単位]	4
		【情報】 データサイエンス基礎 [1単位] 人工知能基礎 [1単位]	2
		【外国語】 英語基礎A [2単位] 英語基礎C [2単位]	4
		【教養日本語】 日本語リテラシー [1単位]	1
		【CHP】 SDGs 基礎 [1単位] SDGs 発展1 [1単位] SDGs 発展2 [1単位] SDGs 発展3 [1単位]	4
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 (72)	必修 (30)	【学科基礎科目】 [計11単位] 【学科基幹科目】 [計17単位] 【卒業研究】 [計2単位]	30
	選択 (42)	学科科目の開講表の単位区分が選択となっている科目 [計42単位]	42
自由選択科目 (36)		以下の科目から36単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要16単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要72単位を超えて修得した単位） ③資格取得科目（教職課程の科目） ④武蔵野地域5大学単位互換制度による認定科目 ⑤他学部・他学科履修許可科目 ⑥成果に基づき単位認定される科目 ⑦学校教育法施行規則第143条の2に定める教育関係共同利用拠点として認定された他大学の公開授業	36
合計			124

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学】						
BDS 101	仏教（生き方を考える）基礎	1年	2			
BDS 301	仏教（生き方を考える）発展	3年	2			
【スポーツ・身体】						
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1		
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1		
【情報】						
SIC 101	データサイエンス基礎	1年	1			
SIC 102	人工知能基礎	1年	1			
SIC 105	メディアリテラシー	1年		1		
SIC 103	情報技法基礎	1年		1		
SIC 201	情報技法発展A	2年		1		
SIC 202	情報技法発展B	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること	
SIC 203	情報技法発展C	2年		1		
SIC 104	プログラミング基礎	1年		1		
SIC 204	プログラミング発展A	2年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること	
SIC 205	プログラミング発展B	2年		1		
SIC 206	人工知能技術と社会	2年		1		
SIC 207	機械学習活用1	2年		1	◆「機械学習活用1」「機械学習活用2」をセットで履修すること	
SIC 208	機械学習活用2	2年		1		
SIC 209	データサイエンス活用1	2年		1	◆「データサイエンス活用1」「データサイエンス活用2」をセットで履修すること	副専攻(AI活用エキスパートコース)の学生のみ履修可能
SIC 210	データサイエンス活用2	2年		1		
SIC 211	メディアデザイン	2年		1		
SIC 213	サービスデザイン	2年		1		
SIC 301	人工知能実践プロジェクト	3年		2		
【外国語】						
ENG 101	英語基礎A	1年	2			
ENG 102	英語基礎B	1年		1		
ENG 103	英語基礎C	1年	2			
ENG 104	英語基礎D	1年		1		
ENG 201	英語発展A	2年		1		
ENG 202	英語発展B	2年		1		
ENG 203	英語発展C	2年		1		
ENG 204	英語発展D	2年		1		
ENG 301	英語総合A	3年		1		
ENG 302	英語総合B	3年		1		
CHN 101	中国語基礎1	1年		1	◆「中国語基礎1」「中国語基礎2」をセットで履修すること	
CHN 102	中国語基礎2	1年		1		
CHN 201	中国語発展1	2年		1		
CHN 202	中国語発展2	2年		1	◆「中国語発展1」を履修していること	
FRA 101	フランス語基礎1	1年		1	◆「フランス語基礎1」「フランス語基礎2」をセットで履修すること	
FRA 102	フランス語基礎2	1年		1		
FRA 201	フランス語発展1	2年		1		
FRA 202	フランス語発展2	2年		1	◆「フランス語発展1」を履修していること	
GER 101	ドイツ語基礎1	1年		1	◆「ドイツ語基礎1」「ドイツ語基礎2」をセットで履修すること	
GER 102	ドイツ語基礎2	1年		1		
GER 201	ドイツ語発展1	2年		1		
GER 202	ドイツ語発展2	2年		1	◆「ドイツ語発展1」を履修していること	
SPA 101	スペイン語基礎1	1年		1	◆「スペイン語基礎1」「スペイン語基礎2」をセットで履修すること	
SPA 102	スペイン語基礎2	1年		1		
SPA 201	スペイン語発展1	2年		1		
SPA 202	スペイン語発展2	2年		1	◆「スペイン語発展1」を履修していること	
KOR 101	韓国語基礎1	1年		1	◆「韓国語基礎1」「韓国語基礎2」をセットで履修すること	
KOR 102	韓国語基礎2	1年		1		
KOR 201	韓国語発展1	2年		1		
KOR 202	韓国語発展2	2年		1	◆「韓国語発展1」を履修していること	

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
AL 301	留学準備 1	1年		1	◆「留学準備 1」「留学準備 2」をセットで履修すること ◆履修条件をシラバスで確認すること ◇TOEIC550点程度の英語力があること ◇TOEIC400点程度の英語力があること	
AL 302	留学準備 2	1年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策 1	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策 2	1年		1		
【教養日本語】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1		◆留学生または日本語を母語としない学生	*1*2 外国語科目群の必修科目に代えることができる
JPA 201	日本語基礎 A	1年		1		
JPA 202	日本語基礎 B	1年		1		
JPA 203	日本語基礎 C	1年		1		
JPA 204	日本語基礎 D	1年		1		
JPA 301	日本語発展 A	2年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生 ◆次のいずれかのセットで履修すること ①「日本語発展A」「日本語発展B」 ②「日本語発展C」「日本語発展D」 ③「日本語発展A-D」	*2
JPA 302	日本語発展 B	2年		1		
JPA 303	日本語発展 C	2年		1		
JPA 304	日本語発展 D	2年		1		
JPA 101	日本事情	1年		2		
【CHP】						
SDG 101	SDGs 基礎	1年	1			
SDG 201	SDGs 発展 1	1年	1			
SDG 202	SDGs 発展 2	1年	1			
SDG 203	SDGs 発展 3	1年	1			
CHP 301	SDGs 特講	3年		2		
【フィールド・スタディーズ】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1	学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です	
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展 1 A	1年		1	詳細はガイドスで確認すること 履修登録は不要です	
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展 1 B	1年		2		
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展 1 C	1年		3		
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展 1 D	1年		4		
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展 2 A	2年		1		
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展 2 B	2年		2		
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展 2 C	2年		3		
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展 2 D	2年		4		
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展 2 E	2年		5		
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展 3 A	3年		1		
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展 3 B	3年		2		
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展 3 C	3年		3		
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展 3 D	3年		4		
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展 3 E	3年		5		
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展 4 A	4年		1		
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展 4 B	4年		2		
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展 4 C	4年		3		
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展 4 D	4年		4		
【インターンシップ】						
CD 211	インターンシップ	2年		1		
CD 212	企業協働プロジェクト	2年		2		
【全学教養ゼミナール】						
LAS 101	全学教養ゼミナール 1	1年		2		
LAS 102	全学教養ゼミナール 2	1年		2		
【寄付講座】						
EC 101	武蔵野市自由講座	1年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
【教職関連】						
LAW 205	日本国憲法	2年		2		教職必修

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

\*1 留学生は「英語基礎A,C(2科目4単位)」の代わりに、「日本語基礎A-D(4科目4単位)」が履修登録されています。

「日本語基礎A-D」は、外国語必修科目に対応するものとして、進級基準における「必修未修得2科目以内」の条件の対象となり、原級留年時の成績リセットの対象となります。

\*2 日本語を母語としない学生が履修を希望する場合は、2022年度の前期履修登録期間までに武蔵野教務課にお問合せください。



科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【学科基礎科目】						
ESS 100	環境システム学初年次ゼミナル	1年	2			
ESS 101	環境問題概論 1	1年	2			
ESS 102	環境問題概論 2	1年	2			
ENG 100	環境英語入門 1	1年	1			
ENG 101	環境英語入門 2	1年	1			
ESC 100	環境科学基礎A	1年	1			
ESC 101	環境科学基礎B	1年	1			
ESC 102	環境科学基礎C	1年	1			
【学科基幹科目】						
ESS 111	環境エネルギー概論	1年	2			
EMG 210	環境マネジメント論	2年	2			
ESS 211	生態系マネジメント	2年	2			
ESS 230	環境心理学	2年		2		
ESC 213	地球史	2年		2		
CHM 200	化学概論 1	2年		2		
ETS 200	地学概論 1	2年		2		
BIO 201	生物学概論 1	2年		2		
ENG 202	環境英語 1	2年		2		
SOC300	調査統計法	3年		2		
ESS 112	環境リサイクル論	1年	2			
ESS 280	環境システム学基礎ゼミナル	2年	1			
EMG 202	環境政策論	2年		2		
EMG 201	環境経済学	2年		2		
CHM 201	化学概論 2	2年		2	◇「化学概論 1」を履修していること	
ETS 201	地学概論 2	2年		2	◇「地学概論 1」を履修していること	
BIO 202	生物学概論 2	2年		2	◇「生物学概論 1」を履修していること	
ENG 203	環境英語 2	2年		2		
ESS 213	食環境学	2年		2		
ESC 200	環境科学基礎実験	2年		2		
ESS 212	水環境学	2年		2		
ESS 381	環境システム学ゼミナル 1	3年	2			
EMG 313	環境マネジメントシステム論	3年		2		
BIO 306	分子生態学	3年		2	◇「生物学概論 2」を履修していること	
BIO 307	景観生態学	3年		2		
PHY 300	環境物理学	3年		2		
EMG 312	ライフサイクルアセスメント	3年		2		
ESS 321	環境思想	3年		2		
ESS 201	環境システム思考	2年	2			
ESD 301	環境教育論	3年		2		
ESS 110	環境倫理	1年		2		
EMG 315	エコプロダクツ	3年		2		
ESS 382	環境システム学ゼミナル 2	3年	2			
ESS 334	持続可能社会論	3年	2			
ESS 332	社会技術論	3年		2		
ESC 212	エコマテリアル	2年		2		
ESC 211	資源エネルギー論	2年		2		
EMG 314	環境経営論	3年		2		
EMG 301	国際環境論	3年		2		
ESS 333	環境リスク論	3年		2		
ESC 210	環境地球化学	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【学科展開科目】</b>						
ESS 170	環境プロジェクト入門	1年		2		
ESC 220	環境モニタリング 1	2年		2		
ESS 140	環境システム学特殊授業 1	1年		2		
ESS 241	環境システム学特殊授業 2	2年		2		
ESS 242	環境システム学特殊授業 3	2年		2		
ESS 243	環境システム学特殊授業 4	2年		1		
ESS 244	環境システム学特殊授業 5	2年		1		
ESS 270	環境プロジェクト1A	2年		2		
ESS 271	環境プロジェクト1B	2年		2		
ESC 321	環境モニタリング 2	3年		2		
CHM 303	化学実験 (コンピュータ活用を含む)	3年		2	◇「化学概論1」および「化学概論2」を履修していること	
PHY 301	物理学実験 (コンピュータ活用を含む)	3年		2	◇「環境物理学」を履修していること	
CHM 302	環境分析化学	3年		2	◇「化学概論1」および「化学概論2」を履修していること	
BIO 303	生物学特論 1	3年		2	◇「生物学概論2」を履修していること	
ENG 304	環境英語 3	3年		2		
ESC 322	環境モニタリング 3	3年		2		
BIO 305	生物学実験 (コンピュータ活用を含む)	3年		2	◇「生物学特論2」を履修していること	
CHM 304	環境材料化学	3年		2	◇「化学概論1」および「化学概論2」を履修していること	
BIO 304	生物学特論 2	3年		2	◇「生物学特論1」を履修していること	
ENG 305	環境英語 4	3年		2	◇「環境英語3」を履修していること	
EMG 320	環境アセスメント	3年		2		
EMG 302	ローカルガバナンス論	3年		2		
ETS 302	地学実験 (コンピュータ活用を含む)	3年		2	◇「地学概論2」を履修していること	
ESS 353	環境学総合演習	3年		2	◆「環境インターンシップ1,2,3」「環境学総合演習」の履修方法は学科ガイドで周知される (Web履修登録対象外)。なお、実習期間終了後、履修登録し単位を付与するものとする。	
ESS 250	環境インターンシップ1	2年		2		
ESS 351	環境インターンシップ2	3年		2		
ESS 352	環境インターンシップ3	3年		2	「環境学総合演習」の単位認定の条件はシラバスを確認すること。	
ESD 302	自然環境教育演習	3年		2		
ESS 370	環境プロジェクト2A	3年		2	◇「環境プロジェクト1A」を履修していること	
ESS 371	環境プロジェクト2B	3年		2	◇「環境プロジェクト1B」を履修していること	
ESC 311	環境工学特講	3年		2		
<b>【総合科目】</b>						
ESS 360	総合研究基礎 1	1・2・3・4		1		
ESS 361	総合研究基礎 2	1・2・3・4		1		
ESS 362	総合研究 1	1・2・3・4		2		
ESS 363	総合研究 2	1・2・3・4		2		
ESS 364	総合研究 3	1・2・3・4		4		
<b>【卒業研究】</b>						
ESS 490	卒業研究	4年	2			
ESS 491	卒業論文	4年		4		

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

## 環境システム学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

### 【モデル名】

環境配慮製品  
サービス企画開発

### 【進路イメージ】

企業の環境配慮製品・サービス企画開発部門、自然食品、新エネルギーの企画、開発、普及活動など

### 【モデル概要】

企業の環境配慮製品・サービス企画開発部署を進路として想定し、『エコロダクツ』『社会技術論』『エコマテリアル』等の必要な科目を中心に学ぶ。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2	★ 仏教（生き方を考える）発展 2		
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
			★ 人工知能基礎 1			
		外国語	★ 英語基礎A 2			
			★ 英語基礎C 2			
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1			
		CHP	★ SDGs基礎 1			
			★ SDGs発展1 1			
★ SDGs発展2 1						
	★ SDGs発展3 1					
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1					
学科科目 (72)	必修 (30)	★ 環境システム学初年次ゼミナール 2	★ 環境マネジメント論 2	★ 環境システム学ゼミナール1 2	★ 卒業研究 2	
		★ 環境問題概論1 2	★ 生態系マネジメント 2	★ 環境システム学ゼミナール2 2		
		★ 環境問題概論2 2	★ 環境システム学基礎ゼミナール 1	★ 持続可能社会論 2		
		★ 環境英語入門1 1	★ 環境システム思考 2			
		★ 環境英語入門2 1				
		★ 環境科学基礎A 1				
		★ 環境科学基礎B 1				
		★ 環境科学基礎C 1				
		★ 環境エネルギー概論 2				
		★ 環境リサイクル論 2				
	選択 (42)	環境倫理 2	エコマテリアル 2	エコロダクツ 2	卒業論文 4	
		環境システム学特殊授業1 2	資源エネルギー論 2	ライフサイクルアセスメント 2		
		環境プロジェクト入門 2	環境地球化学 2	社会技術論 2		
		食環境学 2	環境リスク論 2			
		水環境学 2	環境マネジメントシステム論 2			
		環境心理学 2	環境材料化学 2			
		化学概論1 2	環境分析化学 2			
		化学概論2 2	環境アセスメント 2			
		生物学概論1 2	分子生態学 2			
		生物学概論2 2	景観生態学 2			
		環境科学基礎実験 2	調査統計法 2			
		環境モニタリング1 2	環境工学特講 2			
		環境プロジェクト1A 2	環境モニタリング2 2			
		環境プロジェクト1B 2	環境モニタリング3 2			
			環境プロジェクト2A 2			
			環境プロジェクト2B 2			
自由選択科目 (36)		メディアリテラシー 1	情報技法発展A 1			
		情報技法基礎 1	情報技法発展B 1			
		プログラミング基礎 1	情報技法発展C 1			
備考		モデルで示された科目に限らず、各自の関心のある科目を主体的に履修することを推奨します。 上記に加え、自由選択科目を2単位以上を選択。				
履修モデル計		38	38	40	6	
CAP（履修上限単位数）※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

## 環境システム学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

### 【モデル名】

公務員・環境系企業

### 【進路イメージ】

国家公務員・地方公務員・特殊法人（環境測定・保全部門、廃棄物処理に関する部門、地方創生・中山間地域等振興部門、地域環境計画や防災計画に携わる部門等）、環境系企業、一般企業（CSR部門、CSV部門等）、環境コンサルタント、EMS監査員など

### 【モデル概要】

公務員、環境系企業、企業の環境関連部署等を進路として想定し、『環境経済学』『環境政策論』『環境経営論』等のビジネスや公務での環境関連業務に必要な科目を中心に学ぶ。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照	
			★ 人工知能基礎 1		
		外国語	★ 英語基礎A 2		
			★ 英語基礎C 2		
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1		
		CHP	★ SDGs基礎 1		
			★ SDGs発展1 1		
★ SDGs発展2 1					
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1				
学科科目 (72)	必修 (30)	★ 環境システム学初年次ゼミナル 2	★ 環境マネジメント論 2	★ 環境システム学ゼミナル1 2	★ 卒業研究 2
		★ 環境問題概論1 2	★ 生態系マネジメント 2	★ 環境システム学ゼミナル2 2	
		★ 環境問題概論2 2	★ 環境システム学基礎ゼミナル 1	★ 持続可能社会論 2	
		★ 環境英語入門1 1	★ 環境システム思考 2		
		★ 環境英語入門2 1			
		★ 環境科学基礎A 1			
		★ 環境科学基礎B 1			
		★ 環境科学基礎C 1			
		★ 環境エネルギー概論 2			
		★ 環境リサイクル論 2			
	選択 (42)	環境倫理 2	環境政策論 2	環境経営論 2	卒業論文 4
		環境システム学特殊授業1 2	環境経済学 2	環境マネジメントシステム論 2	
		環境プロジェクト入門 2	環境心理学 2	ライフサイクルアセスメント 2	
			エコマテリアル 2	エコプロダクト 2	
			食環境学 2	環境アセスメント 2	
			水環境学 2	環境リスク論 2	
			資源エネルギー論 2	国際環境論 2	
			環境地球化学 2	ローカルガバナンス論 2	
			環境英語1 2	社会技術論 2	
			環境英語2 2	環境教育論 2	
	環境プロジェクト1A 2	環境思想 2			
	環境プロジェクト1B 2	環境プロジェクト2A 2			
	環境インターンシップ1 2	環境プロジェクト2B 2			
		環境インターンシップ2 2			
		環境インターンシップ3 2			
		環境学総合演習 2			
自由選択科目 (36)	メディアリテラシー 1	情報技法発展A 1			
	情報技法基礎 1	情報技法発展B 1			
	プログラミング基礎 1	情報技法発展C 1			
備考	モデルで示された科目に限らず、各自の関心のある科目を主体的に履修することを推奨します。 上記に加え、自由選択科目を4単位以上を選択。				
履修モデル計	38	36	40	6	
CAP（履修上限単位数）※1	40	40	40	40	
卒業所要単位数	合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

# 環境システム学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

## 【モデル名】

## 【進路イメージ】

## 【モデル概要】

中学・高校 理科教員

高等学校・中学校理科教諭、企業・団体研修講師、社会教育施設等の講座企画担当者、科学館等の科学コミュニケーターなど

理科教員を進路として想定し、『環境物理学』『環境モニタリング』『自然環境教育演習』等の教職に必要な科目を中心に学ぶ。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照	
			★ 人工知能基礎 1		
		外国語	★ 英語基礎A 2		
			★ 英語基礎C 2		
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1		
			★ SDGs基礎 1		
		CHP	★ SDGs発展1 1		
★ SDGs発展2 1					
★ SDGs発展3 1					
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1				
学科科目 (72)	必修 (30)	★ 環境システム学初年次ゼミナール 2	★ 環境マネジメント論 2	★ 環境システム学ゼミナール1 2	★ 卒業研究 2
		★ 環境問題概論1 2	★ 生態系マネジメント 2	★ 環境システム学ゼミナール2 2	
		★ 環境問題概論2 2	★ 環境システム学基礎ゼミナール 1	★ 持続可能社会論 2	
		★ 環境英語入門1 1	★ 環境システム思考 2		
		★ 環境英語入門2 1			
		★ 環境科学基礎A 1			
		★ 環境科学基礎B 1			
		★ 環境科学基礎C 1			
		★ 環境エネルギー概論 2			
	★ 環境リサイクル論 2				
	選択 (42)	環境倫理 2	化学概論1 2	環境教育論 2	卒業論文 4
		環境プロジェクト入門 2	化学概論2 2	調査統計法 2	
			生物学概論1 2	生物学特論1 2	
			生物学概論2 2	生物学特論2 2	
			地学概論1 2	生物学実験（コンピュータ活用を含む） 2	
			地学概論2 2	環境分析化学 2	
			環境科学基礎実験 2	環境材料化学 2	
			環境モニタリング1 2	化学実験（コンピュータ活用を含む） 2	
			資源エネルギー論 2	環境物理学 2	
		環境地球化学 2	物理学実験（コンピュータ活用を含む） 2		
	地球史 2	地学実験（コンピュータ活用を含む） 2			
	エコマテリアル 2	自然環境教育演習 2			
	環境プロジェクト1A 2	環境モニタリング2 2			
	環境プロジェクト1B 2	環境プロジェクト2A 2			
		環境プロジェクト2B 2			
自由選択科目 (36)	教師論 2	学校の制度 2	道徳教育の理論と方法 2	教育実習Ⅰ 3	
	教育原理 2	教育課程論 2	特別活動 2	教育実習Ⅱ 2	
	発達と学習 2	理科指導法 4	教育方法論 2	教職実践演習（中・高） 2	
	教育相談（カウンセリングを含む） 2	生徒指導論 2	理科教育法 4		
	スポーツと身体科学 1	日本国憲法 2	特別支援教育 2		
		フィールド・スポーツ 1			
備考		モデルで示された科目に限らず、各自の関心のある科目を主体的に履修することを推奨します。 教職課程の「教育の基礎的理解に関する科目等」および教職課程履修者の「日本国憲法」はCAP外科目となります。			
履修モデル計		34	36	38	6
CAP（履修上限単位数）※1		40	40	40	40
卒業所要単位数		合計124単位以上			

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

# 環境システム学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

## 【モデル名】

## 【進路イメージ】

## 【モデル概要】

### ECO-TOP科目群

官庁・地方自治体、企業、NGOなどの幅広い業界で、環境科学リテラシーを強みとしたジェネラリストとして活躍。

東京都ECO-TOPプログラムに準拠した、自然科学・社会科学・人文科学にまたがった、自然環境に関する幅広い科目と、現場実践につながる演習・実習型科目を履修することで、多面的な問題を立体的にとらえ、評価・分析するジェネラリストを目指す。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2	
		情報	★ データサイエンス基礎 1 ★ 人工知能基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
		外国語	★ 英語基礎A 2 ★ 英語基礎C 2			
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1			
		C H P	★ S D G s 基礎 1			
			★ S D G s 発展1 1 ★ S D G s 発展2 1			
			★ S D G s 発展3 1			
		フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1			
学科科目 (72)	必修 (30)	★ 環境システム学初年次ゼミナール 2	★ 環境マネジメント論 2 ★ 生態系マネジメント 2	★ 環境システム学ゼミナール1 2 ★ 環境システム学ゼミナール2 2	★ 卒業研究 2	
		★ 環境問題概論1 2 ★ 環境問題概論2 2	★ 環境システム学基礎ゼミナール 1 ★ 環境システム思考 2	★ 持続可能社会論 2		
		★ 環境英語入門1 1 ★ 環境英語入門2 1				
		★ 環境科学基礎A 1 ★ 環境科学基礎B 1				
		★ 環境科学基礎C 1				
		★ 環境エネルギー概論 2 ★ 環境リサイクル論 2				
		選択 (42)	環境倫理 2	資源エネルギー論 2	環境アセスメント 2	環境思想（3年生～） 2
			環境システム学特殊授業1 2	環境地球化学 2	景観生態学 2	国際環境論（3年生～） 2
				環境モニタリング1 2	分子生態学 2	ローカルガバナンス論（3年生～） 2
				地球史 2	生物学実験（コンピュータ活用を含む） 2	環境工学特講（3年生～） 2
			水環境学 2	環境リスク論 2	卒業論文 4	
			食環境学 2	環境モニタリング2 2		
			環境心理学 2	環境教育論 2		
			生物学概論1 2	自然環境教育演習 2		
		地学概論1 2	ライフサイクルアセスメント 2			
		環境政策論 2	エコプロダクツ 2			
		環境経済学 2	環境経営論 2			
		環境英語1 2	環境マネジメントシステム論 2			
	環境英語2 2	環境インターンシップ2 2				
	環境インターンシップ1 2	環境インターンシップ3 2				
		環境学総合演習 2				
自由選択科目 (36)	スポーツと身体科学 1 情報技法基礎 1	フィールド・スポーツ 1				
備考	モデルで示された科目に限らず、各自の関心のある科目を主体的に履修することを推奨します。 上記に加え、自由選択科目を1単位以上を選択。					
履修モデル計	35	36	38	14		
CAP（履修上限単位数）※1	40	40	40	40		
卒業所要単位数	合計124単位以上					

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

# 環境システム学科 履修モデル 2022年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

## 【モデル名】

## 【進路イメージ】

## 【モデル概要】

**大学院進学**

本学大学院環境学研究所環境マネジメント専攻  
他学大学院環境系研究科（自然科学系・社会科学系・人文科学系）

大学院進学を進路として想定し、研究希望領域にあわせて、必要な科目を学ぶ。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2		★ 仏教（生き方を考える）発展 2	
		情報	★ データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
			★ 人工知能基礎 1			
		外国語	★ 英語基礎A 2			
			★ 英語基礎C 2			
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1			
		C H P	★ S D G s 基礎 1			
			★ S D G s 発展1 1			
★ S D G s 発展2 1						
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1					
学科科目 (72)	必修 (30)	★ 環境システム学初年次ゼミナール 2	★ 環境マネジメント論 2	★ 環境システム学ゼミナール1 2	★ 卒業研究 2	
		★ 環境問題概論1 2	★ 生態系マネジメント 2	★ 環境システム学ゼミナール2 2		
		★ 環境問題概論2 2	★ 環境システム学基礎ゼミナール 1	★ 持続可能社会論 2		
		★ 環境英語入門1 1	★ 環境システム思考 2			
		★ 環境英語入門2 1				
		★ 環境科学基礎A 1				
		★ 環境科学基礎B 1				
		★ 環境科学基礎C 1				
		★ 環境エネルギー概論 2				
		★ 環境リサイクル論 2				
		環境倫理 2	環境地球化学 2	調査統計法 2		卒業論文 4
			資源エネルギー論 2	環境リスク論 2		
			エコマテリアル 2	環境材料化学 2		
	食環境学 2	環境分析化学 2				
	水環境学 2	分子生態学 2				
	化学概論1 2	景観生態学 2				
	化学概論2 2	環境アセスメント 2				
	生物学概論1 2	エコプロダクツ 2				
	生物学概論2 2	ライフサイクルアセスメント 2				
	環境科学基礎実験 2	社会技術論 2				
	環境政策論 2	環境工学特講 2				
	環境経済学 2	環境モニタリング1（2年生～） 2				
	環境英語1 2	環境モニタリング2 2				
	環境英語2 2	環境モニタリング3 2				
		環境英語3 2				
		環境英語4 2				
自由選択科目 (36)		メディアリテラシー 1	情報技法発展A 1			
		情報技法基礎 1	情報技法発展B 1			
		プログラミング基礎 1	情報技法発展C 1			
			プログラミング発展A 1			
		プログラミング発展B 1				
備考		モデルで示された科目に限らず、大学院での研究希望領域にあわせて主体的に履修することを推奨します。 上記に加え、自由選択科目を4単位以上を選択。				
履修モデル計		34	40	40	6	
CAP（履修上限単位数）※1		40	40	40	40	
卒業所要単位数		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

1. 留学の認定科目

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目の内容が、本学の開講科目の内容に相当する場合は読み替えて単位認定し、それ以外の科目を左記科目として認定します。
	協定留学 2	2		
	協定留学 3	4		
	協定留学 4	6		
	協定留学 5	8		
	協定留学 6	10		
	協定留学 7	10		
認定 (SAP) 留学	認定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目を本学で単位認定する際の換算方法は、以下のとおりです。 語学科目 18時間 = 1 単位 学部科目 11.25時間 = 1 単位 ただし、留学先での修得科目の内容によっては単位が認定されない場合があります。
	認定留学 2	2		
	認定留学 3	4		
	認定留学 4	6		
	認定留学 5	8		
	認定留学 6	10		
	認定留学 7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム 1	1	学科科目 (選択)	留学先での単位認定の上限単位数は、以下のとおりです。 通年：40単位 半年：20単位 1学期：10単位
	短期留学プログラム 2	2		
	短期留学プログラム 3	3		
	短期留学プログラム 4	4		
	短期留学プログラム 5	5		
	短期留学プログラム 6	6		
	短期留学プログラム 7	7		
	短期留学プログラム 8	8		
	短期留学プログラム 9	9		
	短期留学プログラム 10	10		
短期語学研修	海外語学研修 1	2	自由選択科目 ※	参加するプログラムに応じて、左記科目として認定します。  研修先での受講を本学で単位認定する際は、18時間を1単位として換算します。
	海外語学研修 2	3		
	海外語学研修 3	4		
	海外語学研修 4	4		
	オンライン語学研修 1	1		
	オンライン語学研修 2	1		
	オンライン語学研修 3	2		
	オンライン語学研修 4	2		
	オンライン語学研修 5	3		
	オンライン語学研修 6	3		
	オンライン語学研修 7	4		
	オンライン語学研修 8	5		

2. 資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定 I	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定 II	2		
	資格認定 III	2		
	資格認定 IV	1		
	資格認定 V	1		
	資格認定 VI	1		
	資格認定 VII	1		

3. 本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動 1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間を本学で認定する際は、45時間を1単位として換算します。
	ボランティア活動 2	1		
	ボランティア活動 3	2		
	ボランティア活動 4	2		
	ボランティア活動 5	4		

4. 本学が認めたキャリアデザインに関する認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
キャリアデザイン	キャリアデザインA	1	自由選択科目 ※	2021年度以降入学生は認定可能
	キャリアデザインB	1		
	キャリアデザインC	2		
	キャリアデザインD	2		
	キャリアデザインE	2		

5. その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。



**【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】**

学科・課程年度によって武蔵野INITIAL、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

**●卒業所要単位表**

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位表

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野INITIALのうち、必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

**●開講表**

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>  
年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【基礎科目群】</b>						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
<b>【基幹科目群】</b>						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>  
履修が可能となる学年。  
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。